

登録しよう防災会公式
LINE@
情報をいち早く入手するぞ

防災だより

5月号

発行 加古川グリーンシティ防災会 〒675-0063 兵庫県加古川市加古川町平野 24-1 電話(079)425-6852 www.greencity.gr.jp

「防災」が変わる。「防災」を変える!

防災を学ぶには、色々な方法があります。しかし、『防災』と聞くと難しく考え、距離を置いてしまう。でも、覚えておけば役に立つかもと思えば「ちょっと見てみようかな」となるはずです。

そこで今回のお薦めは、2008年公開の映画『252 生存者あり』。

【あらすじ】

関東に直下型地震が発生して数週間。都市の機能は回復しつつあった。しかし、地震の影響で太平洋の海水温が上昇し、史上最大規模の巨大台風によって起こった大規模な高潮が、東京の臨海副都心や汐留などを直撃し、東京がパニックに陥る。地下鉄内に浸入した濁流によって地下鉄「旧新橋駅」構内に閉じ込められた人々の中にいた消防吏員OBから『252』の信号が地上に向けて送られた。これを知った東京消防庁の消防救助機動部隊「ハイパーレスキュー」が彼らを救出すべく、東京が台風の目に入った僅か18分間で救助活動に挑む内容の映画!

この映画を通して、『252』という数字を知った方も多いのではないのでしょうか。

何故「252」を題名に使用したのか?

『252』(ニーゴーニと読む)とは、東京消防庁の通話コード(主に消防無線における符丁。会話を部外者に聞かれるのを避けたり、指示簡略化のため用いる)で、本来は現場報告の中のひとつ『要救助者(要救)』、つまり「救助を必要とする者」「逃げ遅れ」を意味するものです。映画の中で表現されているような生存が確認できる場合だけでなく、生死未確認の場合でも使用されます。この映画で有名になった通話コード『252』、しかしながらこの通話コードは、「252」という数字であり、意味は持ちません。略語・略号とも言われ市町村単位で異なるものです。

でも、どうでしょうか?もしも災害発生時、あなたが閉じ込められた場合、外部の人に自分の存在を知らせるため携帯電話を利用する事を考えるでしょう。但し、大災害時には、電波が届くかどうか不確実です。



過去の教訓からは、携帯電話の基地局が機能しているかどうかという問題があります。そんな中で閉じ込められたことを外部の人に知らせるために『大声で叫ぶ、笛を吹く』等と色々な発信方法を考えるでしょう。しかし、大声で叫

ぶことは、残しておかなければならない体力を消耗させてしまったり、叫び続けて声がかれてしまう等、継続して伝え続けることは非常に難しいのです。そこで身の回りにあるもので『何かを叩く!』これにより自分の存在を外部の人に知らせることが可能となります。災害時には、こんな簡単なことも思いつかず、「救助要請」を受けるための行動すらとれなくなるのです。

この『252』とは別に、世界中の多くの人知っている救助信号『SOS』というものがあります。これは救援を求めるという意味なのはご存知のことでしょう。しかしながら、どういう言葉の略なのかといえ、SOS(エスオーエスとよむ)とは、世界中で用いられるモース符号の遭難信号です。一般的には、遭難に限らず「救助や助けを求める際の合図」として使用することもあります。“Save Our Souls”(我らを救え)または“Save Our Ship”(我が船を救え)の略といわれることがありますが、これは全くの俗説であり『SOS』という文字列自体は、何かの略称でもなく救難信号以外の意味があるわけではありません。Sは「・・・『ト・ト・ト』」、Oは「---『ツ-ツ-ツ-』」と欧文符号の中でも、海が荒れた海上遭難中でも、打電しやすく聞き取りやすいため、SとOの組み合わせで遭難を知らせる合図となったようです。『・・・---・・・』。しかし、2017年に海上遭難の救助発信は衛星通信技術を駆使した「全世界海上遭難安全システム『GMDSS』」方式の採用で、無線通信によるSOSは1992年1月末でその役割を終えたことはあまり知られていません。

だからといって「使ってはダメ」ということはありません。もしも!あなたが閉じ込められて、自分の存在を知らせたいときは「252」でも「SOS」でもなんでもいいから「あなたの存在を知らせる!」これを忘れないでください。それは!あなたにしか出来ない「命を守る情報発信」なのです!

シリーズ:心を動かした名曲をご紹介します。名曲に触れ、今一度あなたの大切なもの考えてみませんか?

『大切なもの』(ロードオブメジャー) 2002/8リリース

♪泣かないで そこにはほら
かけがえのない 大切なもの
目を閉じれば 夜空に映る 優しい思い出たち
桜散る その旅にまた 門出の涙 流したけれど
涙散る その度にまた 笑いあえた 僕達がいた
泣かないで そこにはほら あなたを包む 大切な人
一つ一つ 流した涙 その理由を忘れないで
あたたかい人の優しさに 僕は答えられているのだろうか
この旅が 終わる頃には その答えも見えてくるだろう♪

